

平成 28 年度 白幡公園こどもログハウス「ピッコロ」事業計画書

1 NPO 法人鶴見区民地域活動協会の事業方針

鶴見区民地域活動協会は、鶴見区自治連合会が設立した NPO 法人であり、地域に密着した事業活動として、「地域の人達による地域活動」の支援や「地域の特性に合った事業」「地域と連携した事業」を推進していく団体です。これまでの事業運営をさらに発展させ、地域と一体となった活動をこれからも進めていきます。

①地域密着型の組織運営

地域からの職員採用や運営協議会委員の選任により、地域密着型の施設運営を行っていきます。

②地域のネットワーク力を活かした事業展開と交流促進

- ・自治会・町内会、区老人クラブ、婦人会など地域を支える団体と連携を強化し、魅力ある事業展開を行っていきます。
- ・ケアプラザ、障害者施設などの近隣施設や小・中学校とも協力することで、幅広い要望に応えることのできる運営を行っていきます。
- ・地域で活動している人材を活用した事業展開を推進するため人材バンクを構築していきます。

③地区センターに地域コーディネーター職員の配置

- ・各地区センターに地域コーディネーター職員を配置し、高水準の施設運営が行える組織体系とします。
- ・コーディネーターが自治会、ケアプラザ、関係団体との連携や調整役などを果たすことで施設運営の充実・円滑化を進めていきます。

④エリア別運営管理を目指した組織づくり

- ・海（潮田）・山（寺尾）・川（矢向・末吉）・東海道（生麦）の 4 エリアに分割管理することで、地区センター、コミュニティハウス、子どもログハウスを一体とした事業展開を実施していきます。
- ・エリア内やエリア間の交流を活発化させることで情報の共有化、自主事業の共同企画化を図り、施設運営の水準を高めた事業展開を実施していきます。

⑤魅力ある自主事業の推進

- ・幼児から高齢者までが参加できる自主事業を実施するために、各施設で実施している事業を総括管理し、事業の種類や経費など施設間で一定水準を維持できる体制を確保していきます。
- ・自主事業の魅力を広めるために、自治会・町内会館などを利用した出前講座を実施していきます。
- ・人気の高い事業は、複数の施設で実施できるように情報共有化を進めていきます。

⑥新刊書・絵本の積極的購入による魅力ある図書貸出し事業の推進

- ・「地域の貸本屋」をモットーに評判の新刊書を多数取りそろえると共に、子育て世代に魅力を感じてもらえる絵本を充実していきます。

⑦モニター制度の導入

- ・これまで施設や街頭などでアンケートを実施してきましたが、さらなる充実を目指してモニター制度を導入していきます。
- ・モニターの皆さまに意見や要望をお聞きし、課題などを抽出することで施設運営の改善などにつなげていきます。

⑧自己評価制度の採用

- ・実施計画の達成度合いを確認するために年度末に自己評価を行います。評価結果は次年度の事業に反

映していきます。

- ・当該施設の自治会が自己評価を確認することで、地域と一体となった施設運営が可能となります。

2 白幡公園こどもログハウス管理運営の基本方針

白幡公園こどもログハウスは、主に寺尾、寺尾第二、生麦第二地区の子どもたちが自由に集い、遊びを通じて成長することができる場、幼児と親が触れ合える場、青少年の健全育成を推進する場として活用する施設です。

自治会と連携し、寺尾地区センター、上寺尾小学校コミュニティハウスと一体的に事業展開を実施することで、地域の方に愛され、親しまれる地域活動の拠点として管理運営していきます。

3 運営体制

(1) 人員体制

館長、主任、スタッフは交代制で8名の計10名で施設運営を行います。

主任・スタッフが常時2名以上勤務する体制とします。

(2) 個人情報保護及び研修体制

「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するよう職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止など指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加していきます。

(3) 緊急時の体制と対応計画

- ①鶴見区と締結した災害時の施設利用についての協定に基づき対応します。
- ②緊急時には緊急時連絡網に基づき近隣在住職員がすみやかに集合できる体制を確立しています。
- ③防災訓練、AED使用訓練を実施します。
- ④自動販売機は防災ベンダー対応機を設置するとともに、防災備蓄庫を設置します。
- ⑤地元防災拠点の運営委員（地元町会長、学校長）が本施設の運営協議会委員であるので、非常時には臨機に対応が可能な体制を確保しています。
- ⑥危機管理マニュアルに即し職員指導を行っていきます。
- ⑦不審者対策として防犯システムの設置、小・中学校との情報交換・連絡を密にした対応を実施していきます。

4 施設の運営計画

(1) 運営内容

子どもたちや青少年の活動の場、幼児と親が触れ合える場として大切な施設であるというだけでなく、自治会、地域住民など異なる年齢の人々と交流を深めることのできる場として活用できる事業を実施していきます。

①自治会、地域ボランティアと協力し事業推進

- ・地域コーディネーターなどが協力を要請していきます。
- ・昔遊び、七夕・クリスマスなど季節行事を共同で実施します。

②子ども支援事業の実施

- ・子育て世代を支援する事業を実施します。

(2) 利用促進策

28年度利用者数 3.3万人を目標に利用者の増加を図ります。

①施設利用促進策

- ・自主事業数を 15 講座以上確保し参加者を増やしていきます。
- ・地域コーディネーターが中心となり広報活動を広げることで利用者を増やします。

②図書利用促進策

- ・絵本を充実させることで図書利用を促進します。
- ・絵本の貸出し事業を実施します

(3) 利用者ニーズの把握と取組み

①利用者ニーズの把握

- ・利用者との交流、利用者アンケートなどを通じて利用者ニーズを把握します。
- ・利用者会議を開催し意見や要望を把握していきます。
- ・運営協議会で意見や助言をいただき施設運営に反映していきます。

②利用者サービスの向上

- ・子育て支援団体の利用しやすい環境を整備します。
- ・参加費を低く抑えた自主事業の開催を増やしていきます。

(4) 横浜市重要施策に対する取組み

①図書活動推進事業

絵本を積極的に購入し魅力ある図書事業を実施していきます。

②子育て支援の場や機会の充実

- ・母親の情報交換の場づくりをしていきます。
- ・季節のイベントを実施します。(ひなまつり、七夕まつり、ハロウィン、クリスマス)

③子ども・青少年の健全育成に向けた地域連携の推進

子どもが楽しく遊べる場の提供や子供向け事業の充実を進めます。

④学校と家庭とちいきとの連携の推進

学校と連携して子どもたちの健全育成を支援していきます。

⑤参加と協働による地域自治の支援

地域活動の拠点として、寺尾地区センター、上寺尾小学校コミュニティハウス及び地域施設と連携し、地域の課題・情報の共有化を図ることで地域活動団体を支援していきます。

5 自主事業計画

(1) 自主事業の充実に向けた対策

- ・従来の施設中心の自主事業に加え、上寺尾小学校コミュニティハウスと連携した自主事業を導入していきます。
- ・ログハウス主体の自主事業は、従来からの人気の高い事業の継承に加え、地域の特性を考慮した新企画の講座を取り入れていきます。
- ・協会主体の自主事業として、子ども・子育て支援の課題や人気度の高い講座などを選別して実施していきます。

(2) 自主事業の基本的な分類

①子ども子育て支援事業

親子で楽しく参加・交流できる事業を実施していきます。

②地域交流促進事業

町会、地域ボランティア、青少年指導委員などと共に地域交流できる事業を実施していきます。

④他団体共催事業

子育て支援団体などと共に事業を実施していきます。

6 施設の維持管理計画

安全・快適な環境維持及び長寿命化の観点から施設の維持管理に努めます。

①建築物保守・設備機器・環境衛生管理

- ・専門業者に委託し法令に基づく定期点検、年次点検を実施します。
- ・職員が「点検表」に基づき日常点検を実施し早期発見・早期対応に努めます。

②清掃業務

- ・定期清掃は専門業者に委託します。
- ・職員が開館前、閉館前に日常清掃を、開館時間内は汚れた時に随時清掃を行います。

③保安警備

- ・開館時間内は職員が巡回警備を行います。
- ・防犯カメラによる監視や警備会社に夜間、休日の警備を委託します。

④廃棄物処理

- ・利用者にごみの持ち帰りをお願いすることで、施設から発生する廃棄物を減らしていきます。
- ・横浜市ごみゼロルート回収にて廃棄物を処理します。

⑤修繕

- ・修繕費を平準化するために、修繕計画を作成して修繕を実施します。
- ・突発的に発生する修繕は、地域業者に依頼することで迅速に対応します。

⑥外構

- ・日常点検、軽微な補修は職員が実施します。

横浜市白幡公園こどもログハウス自主事業計画書

団体名 鶴見区民地域活動協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
読み聞かせ (12回)	幼児と保護者	0	0	0	0	0	0
	30組						
	無						
クラシックの会 (年2回)	利用者	10000	10000	0	10000	0	0
	50						
	0						
ベビーマッサージ 年3回	幼児と保護者	12000	9000	3000	9000	0	3000
	10組						
	300						
親子でリトミック体操 年3回	幼児と保護者	13500	9000	4500	9000	0	4500
	15組						
	300						
昔遊び けん玉・お手玉で遊ぼう 年2回	利用者	0	0	0	0	0	0
	自由						
	0						
こどもの日 折り紙で兜作ろう 5月1日～5月5日	利用者	3000	3000	0	0	3000	0
	自由						
	0						
七夕まつり 6月下旬～7月7日	利用者	3000	3000	0	0	3000	0
	自由						
	0						
夏の水遊び 8月1日～8月25日	子/保護者	0	0	0	0	0	0
	自由						
	0						
ハロウィン 10月下旬	利用者	6000	6000	0	0	6000	0
	60名						
	0						
落ち葉で焼き芋 11月	利用者	7000	2000	5000	0	5500	1500
	50名						
	100						
ちよっぴりプレゼント クリスマスお楽しみ会 12月24日	利用者	10000	10000	0	0	10000	0
	50名						
	0						
凧揚げしよう	小・中学生	3000	3000	0	0	3000	0
	20名						
	0						
節分だ！豆まきしよう 2月3日	利用者	5000	5000	0	0	5000	0
	自由						
	0						

ひなまつり 工作 (2月下旬)	利用者						
	30名						
	0	3000	3000	0	0	3000	0
ぬりえ 通年	幼児～中学生						
	自由						
	0	12000	12000	0	0	12000	0
折り紙で遊ぼう 通年	利用者						
	自由						
	0	5000	5000	0	0	5000	0
合 計		92500	80000	12500	28000	55500	9000

事業ごとの事業内容等を様式2の2に記載してください。

平成28年度白幡公園ログハウスの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)		①+②=A	8,112
項 目	①指定管理費		8,099
	②利用料金収入等	自主事業参加費、自販機収入 コピー・印刷機収入等を含む	13
支出合計(B)			8,112
項 目	人件費	常勤給与、スタッフ賃金、法定福利費ほか	5,272
	事務費	消耗品費、備品購入費、旅費、会議賄費 通信費、振込手数料ほか	890
	事業費	自主事業、発表・作品展	93
	管理費	光熱水費、修繕費、清掃費、機械警備費 自動ドア保守点検、消防設備保守点検ほか	1,058
	公租公課	消費税、法人税等	423
	事務経費	労務、経理、契約、職員研修ほか	376
収支(A)-(B)			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。